



木祖村
イメージキャラクター
“源流の源気くん”

広
報

さ え

2019.

1

平成31年1月31日発行 No.352



今月の主な内容

新年のご挨拶	2～3 P
平成31年 木祖村消防団出初式	4 P
木祖村結婚支援事業	5 P
平成30年度 木祖村表彰式	
消防ポンプ積載車納車 消防団へ引き渡しがされました	6～8 P
地域づくり活性化補助事業をご活用ください	9 P
木祖村 学童野球	10 P
木祖村 少年野球	11 P

米づくり体験収穫祭 (もちつき体験)

12月2日「すくすく倶楽部」の小中学生がもちつき体験を行いました。

今年度子どもたちがすくすく倶楽部で収穫したもち米を使い体験し、「よいしょ、よいしょ」ときねを振り下ろしました。

新年のご挨拶



村民の皆様、新年明けましておめでとうございます。
輝かしい2019年の新春を迎え、謹んで村民の皆様
に
本年の御多幸を心よりご祈念申し上げます。



木祖村長
唐澤 一寛

昨年の9月25日の村長選
挙告示日に無投票当選の栄に
浴し10月16日より2期目のス
タートをいたしました。唐澤
一寛でございます。全村民の
皆様に4年間の評価と信任を
いただきました。大変光栄に
思うと同時に責任の重さをひ
しひしと感じております。初
心に返り清新な心を持って
「笑顔溢れ、笑い声が絶えな
い元気な源流の里木祖村」を

村民の皆様と一緒に築き上
げ、村民の皆様が幸せにな
る為に、より一層の精励する
覚悟でありますので改めて村
民の皆様にお誓いを申し上げ
、村民の皆様のご支援とご
協力を心からお願いをいたし
ます。さて、ウィンターシー
ズンとなりました。冬の経
済の要であるやぶはら高原ス
キー場もスタッフの皆さんの
連日連夜の懸命な努力のおか

げで新年の3日よりスノーマ
シンと自然の雪とでゲレンデ
メイキングが完了し全リフト
が運転をし、この年末年始沢
山のお客様の入込みを期待す
るところであります。木祖村
観光協会が迎える2年目、関
係者一丸となって一人でも多
くのお客様に来ていただきま
すようご健闘を期待いたしま
す。

相次いだ自然災害を反

映し、昨年の日本の漢字は
「災」となりました。豪雪、
猛暑、4月島根県西部、6月
大阪府北部、9月北海道胆振
東部地震、7月豪雨そして、
いくつもの台風の襲来があ
り、職員を徹夜で朝まで待機
させ災害対策本部や警戒本部
の立ち上げが3回程ありまし
た。初めて避難所を開設し、
菅3区、小木曾蒲沼地区の
皆さんには夜中の1時半頃避

難をしていただきましたがスムーズに無事避難をし帰宅出来たことは皆様の防災に対する意識の向上の賜物と思いい、深く敬意を表すところであり、マラソン大会や源流夏祭りが中止となりました。又、床下浸水が1件ありましたが、その対応につきましては県や国へお願いをし砂防堰堤を造ってもらうこととなりました。小さな火災が1件ありましたが、生命財産に影響する災害や事故は無く村民の皆さんが無事年越しが出来ましたことは村長として嬉しく思っている所であります。

平成の大合併、三位一体の改革の終結から15年目、味噌川ダムが完成してから23年目。今年には木祖村創立130周年の節目を迎えます。今木祖村がありますのは、明治、大正、昭和、平成の激動の時代における先人達の血の

滲むようなご苦労の賜物であると思ひ心から感謝を申し上げます。先輩達が築いてくれたこの繁栄を守り育て次世代へ継いで行く義務と責任があると思っております。今年5月1日は皇太子殿下のご即位の日であり、平成から新しい年号へ変わる記念の年となります。節目の年であり、村民の皆さんにご協力いただきながら記念式典を開催し、次の世代へのステップとなるよう、村民の皆さんと共に大いに盛り上げられる一年にしたいと思っております。

29年度に策定した30年度を初年度とする木祖村第5次総合計画の2年目として木祖村民憲章の趣旨に従い「笑顔溢れる源流の里木祖村」を基本理念に木曾川源流の里としての自然と環境を守り、歴史や文化を大切にし産業を育み、若者やお年寄りの皆さん

が喜んで住める村づくりを目標して行きます。

昨年の年末には、木祖村連合自治会会長より各地区の自治会要望の陳情書の提出をいただきました。村民の皆様のご生活に最も密着した身近な要望であります。各地区の要望に1件でも応えることが出来るよう、国や県へお願いする件、緊急性や弱者対策に配慮する案件等、整理する中で対処してまいります。

日本国も長野県も木曾郡もそして木祖村も超少子化、超高齢化の凄まじい時代を迎える中、41年後の2060年2000人の村民が残り、光り輝いている村づくりのもと「木祖村まち、ひと、しごと創生総合戦略」を本年度も引き続き実施し全施策を傾注してまいります。

心して働けるようにします。

(2)木祖村への新しい人の流れをつくりまします。

(3)木祖村で若い世代が結婚、出産、子育ての希望をかなえます。

(4)木祖村でみんなが健康で元気に安心して暮らせる村づくりを目指します。

本年も職員一同「笑顔溢れ、笑い声が絶えない元気な源流の里木祖村」をつくるため、村民の皆様にはきめ細かく、丁寧な行政運営を心がけていく所存でありますので、よろしくお願いいたします。

寒さはこれからです。健康には十二分にご留意をしてください。本年も木祖村にとりまして、又村民の皆様にとりまして良い年でありましますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

(1)木祖村に仕事をつくり安

平成31年 木祖村消防団出初式

1月5日(土)に、木祖小学校体育館において伝統ある木祖村消防団出初式が挙行され、消防団員110名が出動しました。

式典では団員心得の朗読や団長式辞、村長訓辞など厳粛の中にも盛大に挙行され、団員の功績に応じて各種表彰が贈られ、退団者には感謝状が贈られました。

式典に引き続き、藪原街並みにて分列行進が行われ、喇叭隊のすばらしい演奏の中、消防団員は藪原の街並みを力強く行進しました。

平成31年 受章者名簿 (敬称略)

☆日本消防協会長表彰

〔功績章〕 団長 湯川壮公
〔精績章〕 副団長 上村憲一郎 部長 藤原清美

☆長野県消防協会長表彰

〔功績章〕 本部長 笹川政義
〔永年勤続功労章〕 班長 唐澤光敏
〔功労章〕 分団長 日下部良卓
〔努力章〕 分団長 栗屋真介
〔精績章〕 分団長 高柳英幸 分団長 澤頭正道
〔技術章〕 分団長 水本幸治
〔精勤章〕 分団長 山路俊仁 部長 坪井 祐 部長 細野雅志 班長 盛岡功治
班長 笹川雄也 班長 秋山孝博 班長 深澤健治
前団長 永井悦郎 前副団長 小坂真一郎



☆木曾消防協会長表彰

〔勤続章〕 副団長 西野寛樹 分団長 澤頭正道 班長 高柳政次
班長 東 幸治
〔功労章〕 分団長 栗屋真介
〔技術章〕 分団長 高柳英幸
〔精勤章〕 副分団長 山路 卓 部長 永島哲也 部長 岩原清剛
前副団長 永井悦郎 前副団長 小坂真一郎

☆木祖村長表彰

〔村長功労章〕 副分団長 山路 卓 副分団長 岩原達也 副分団長 奥原佑介 副分団長 篠原康伸
副分団長 栗屋圭介
〔15年勤続章〕 班長 笹川雄也
〔退職消防団員感謝状〕 前団長 永井悦郎 前分団長 内山卓也 前分団長 松原正司
前分団長 田中秀和 前分団長 青木信賢 前班長 久保田達之

〔一般感謝状〕 (土地提供者) 土川初男 奥原義文 原 正明

☆消防団長表彰

〔団長特別功労章〕 班長 近藤裕介
〔団長表彰〕 班長 古畑雄介 団員 上垣外純 団員 湯川 亮 団員 六井 壘
団員 脇田悠作 団員 田中 聡
〔精勤章〕 (十年連続) 児野智也 横山裕貴 西野慶太
(九年連続) 大久保稔彦
(八年連続) 六井 壘 柳沢雄大 林 翔太 永瀬 晋
(七年連続) 田下 晃 巢山和寛
(六年連続) 奥原綾香 上垣外純 藤井智興 林 涼太 藤原裕也 脇田悠作 田中 聡
(五年連続) 藤原綾香 岩原 礼 西野貴幸 下條久佳 湯川将太郎
(四年連続) 林 友香 平田美紀 青柳聖菜 川合満昭 永瀬弘樹 西牧京汰
(三年連続) 中田明依 青木 萌 中島銀太 矢口敬進 安原翔矢 奥原祥樹 草刈旭人
笹川 歩 原 行人 笹川涼太
(二年連続) 熊崎 愛 岩原 舞 神出敏和 永島竜佳 笹川智博 藤原心大 藤原 健
熊崎亮太
(一年目) 中島緩奈 松岡永莉 児野 稜 秋山星夜 奥原 健 藤原大輝 藤原壮早
田上恭平 武田貴徳 丸山悠介 中村亮一 須山和俊

〔団長特別感謝状〕 (退職後援隊長) 小林克彦 原 隆一

☆消防庁長官銀杯 元団長 永井悦郎 元分団長 内山卓也 元分団長 松原正司 元分団長 田中秀和
元分団長 青木信賢 元部長 奥谷 歩 元部長 久保田達之

☆長野県知事報償 元副団長 小坂真一郎

木祖村観光大使&恋愛カウンセラー
伊藤一生の恋愛コラム

お馴染みとなりました
恋愛カウンセラーの伊藤さんによるコラム、
第4回目は相手に断られにくいデートの誘い方の
テクニックです。

今回は「ドア・イン・ザ・フェイス」について。これは、人間心理を利用した交渉テクニックの1つで、本命の要求を通すために、まず過大な要求を提示し、相手に断られたら小さな【本命の】要求を出す方法です。

アメリカの心理学者チャルディーニが行った実験で、次のようなものがあります。

最初の依頼「これから2年間、毎週2時間ずつ青年カウンセリングプログラムに参加してもらいたい」

第2の依頼「ボランティアとして、1日だけ、子供を動物園に連れて行ってもらいたい」

最初の要請は、ほとんどの学生が断ったのですが、断った学生に第2の依頼をすると、約50%の学生が引き受けてくれました。

ところが最初のステップを踏まず、いきなり第2の要請をすると、17%の学生しか承諾してくれなかったというものです。

このように人間は、相手の申し入れを断ることに罪悪感を持ってしまい、次の要求では何とかしようと考えてしまうのですね。

この心理を応用したのが、「ドア・イン・ザ・フェイス」というテクニックになります。

このテクニック、ぼくは主に値段交渉などで使っていますが、もちろん恋愛にも使えますよ。簡単な例ですが、

「今度、遠出しない？」

「えー。」

「冗談。近場でご飯にしよう」

こんな使い方をしたりしますね。

本来の目的を達成する為にそれよりも難しいことを要求して、本来の目的のハードルを下げる。これをわかっていれば、色々応用が効きますよ。恋愛、仕事、日常生活など様々な場面で非常に使えるテクニックなので是非ともマスターしてくださいね。

Vol.04
成功率UP!の誘いのテクニックとは?



伊藤 一生さん

独自の心理術を持つ恋愛カウンセラーとして、ラジオや雑誌などの出演経験多数。現在は、いっせーと共に木祖村観光大使として村内外で活躍中。

恋愛力&魅力UPセミナーを開催しました

12月12日、講師に伊藤一生さんをお迎えし、(一社)木祖村観光協会と木祖村役場の主催で「恋愛力&魅力UPセミナー」を開催しました。

今回は少人数の女性限定のセミナーで、心理学を用いた“恋愛が上手いくテクニック”を教わりました。伊藤さんはまず「自信を持つことが一番大切」としたうえで、すぐに実践できるテクニックやご自身の体験談をお話してくださいました。参加者の皆さんからは「まずは自信をつけて魅力UPしていきたい」、「実践的な内容で、すぐに活用できそうです」と、とても前向きな感想をいただきました。



恋愛カウンセラーに教えてほしいこと、ありませんか？

皆さんから伊藤さんへの質問や相談を募集しています。

「婚活イベントに参加しても上手くいかない…」、「気になる人と仲良くなりたい」

などのお悩みがある方はメールにてご相談ください。伊藤さんが丁寧にお答えします！ご希望の方は左記QRコード (k-enmusubi@kisomura.com) よりメールをお送りください。(QRコードを読み取るとメール作成画面になりますので、内容に相談内容をご記入のうえ、送信してください。匿名での相談もOKです。)



平成30年度 木祖村表彰式



村の政治、経済、社会、教育、文化の発展に顕著な功労があった方、又は衆人の模範と認められる行為があった方・団体を表彰する木祖村表彰式を11月23日に村民センターで行いました。本年度は功労表彰9名、善行表彰2団体と1名に対し、表彰状を授与しました。
(年齢は表彰日現在、敬称は略させていただきます。)

受賞者紹介

【功労番号順】

〔条例第3条第1項第1号（公職）による功労者〕

くりや とくや
栗屋 徳也様（70歳）

平成14年から村長を12年つとめられたほか、助役を9年、分館運営委員を2年つとめられるなど多年にわたり地方自治の振興に寄与されました。
その功績が認められ、平成30年秋の叙勲で旭日双光章を受章されております。

おくはら あたる
奥原 當様（71歳）

議会議員を昭和54年から4年、昭和62年から28年、合計32年つとめられたほか、国保運営協議会委員を4年、分館運営委員を2年つとめられるなど多年にわたり地方自治の振興に寄与されました。

きやまざわ ふくお
木山澤 福夫様 (70歳)

平成23年から選挙管理委員として6年つとめられた後、平成30年からは同委員長として現在も活躍されています。

また自治会長を2年、上下水道協議会委員を2年、分館運営委員として9年、公民館分館長を平成29年から現在もつとめられるなど多年にわたり地方自治の振興に寄与されています。

あべ ひろし
阿部 弘様 (70歳)

平成16年から自治会長を2年つとめられたほか、上下水道協議会委員を8年、公民館分館長を6年、分館運営委員を8年、特別職報酬等審議会委員を6年つとめられるなど多年にわたり地方自治の振興に寄与されました。

また、木祖村商工会理事として14年つとめられた後、平成24年から同会長として6年つとめられ、村の商工業や経済界の発展に寄与されました。

〔条例第3条第1項第2号（産業）による功労者〕

しみず け さあき
清水 今朝秋様 (71歳)

建築業を永年にわたり営む傍ら、自治会長を2年、上下水道協議会委員を2年つとめるなど、地方自治の振興にも寄与されました。

なすの ひろたか
那須野 廣孝様 (71歳)

製造業を永年にわたり営む傍ら、木祖村商工会理事として3年、幹事として12年、木祖産業協同組合理事長として6年つとめられるなど、村の商工業や経済界の発展に寄与されました。

ゆかわ やすゆき
湯川 泰征様 (71歳)

製造業を永年にわたり営む傍ら、木祖村商工会理事として11年つとめられた後、平成15年から同会長として6年つとめられ、村の商工業や経済界の発展に寄与されました。

たなか しゅういち
田中 秀一様 (70歳)

建築業を永年にわたり営む傍ら、平成13年から5年間、商工会理事として村の商工業や経済界の発展に寄与されました。

また、農業委員を平成26年から現在もつとめられているほか、自治会長を2年、上下水道協議会委員を2年つとめるなど、地方自治の振興にも寄与されました。

[条例第3条第1項第5号（消防）による功労者]

たなか かずお
田中 和男様（71歳）

木祖村消防団員として昭和50年に消防団員任命後、25年の永きにわたり消防活動に対し積極的に取り組まれ、平成10年からは2年間団長をつとめられるなど、消防防災活動の推進に寄与されました。

また、平成24年から2年間消防委員会委員長をつとめられ、消防行政の円滑な運営に寄与されました。

[条例第4条第1項第2号による善行者]

なごやなか
名古屋中ライオンズクラブ様

名古屋中ライオンズクラブからは、木曽川上下流交流事業をきっかけに、平成25年から平成29年まで、緑化事業として木祖村に対し200万円の寄付をいただきました。この緑化事業の実施を名古屋中ライオンズクラブ定例会において紹介されたことで、木曽川水源地域への理解を深めていただけるきっかけとなり、今日に至っております。

みやまはな もり つく かい
見山花の森を作る会様

見山花の森を作る会は、平成20年に会を立ち上げ以降、藪原地区の有志により、ハナモモの植栽や遊歩道の整備等、景観の保持につとめられてまいりました。

とちのみ保育園、木祖小学校及び木祖中学校に対し、合計150万円の寄付をいただき、木祖村の子どもたちが使用する備品を新調することができました。

しのはら しげみち
篠原 重道様

子どもたちに「ふるさとの鳥を知ってほしい」との思いから、生まれ育った木祖村に生息する鳥の彫刻106点を寄贈いただきました。

寄贈いただいた作品は、村内数か所で展示された後、現在は木曽川源流ふれあい館で展示されており、村の自然再発見に大きく貢献されました。



平成30年12月25日役場前に消防ポンプ積載車を納車し、村長から消防団長へ自動車の引き渡しがされました。この消防ポンプ積載車は、第4分団の詰所（2区）に配置されております。消防団長から「村の安全安心のため大事に使用し、村民の期待に応えられよう務めていく。」と心強いお言葉をいただきました。

**消防ポンプ積載車
納車
消防団へ引き渡し
がされました**

地域づくり活性化補助事業をご活用ください

村では村民の皆様の自主的な地域活性化活動を支援するための補助事業を実施しています。

対象年度 平成30年度 ※平成31年度も継続して行う予定です。

補助対象者 ○自治会及び地域自治協議会
○住民が組織する団体

対象事業 ○地域の活性化やイメージづくりとなるイベント
○地域文化の創造事業
○地域の環境整備を図る事業
○地域を支える人づくり事業
○地域の防犯、防災事業
○地域の福祉や地域の活力を高める事業
※村及び他の団体から補助を受けていない事業とします。
同一団体が工夫や発展性を伴う同一内容事業を複数年度にわたり実施する場合は原則3年を限度として補助対象とすることができます。

対象経費 事業を行うのに必要な経費。ただし食糧費及び人件費は対象外とします。

補助金額 対象経費の10分の10以内の額とし、1事業当たり、10万円を上限とします。

— 今年度活用事例 —



彩会
マルシェ

(地域の活性化イベント)



菅吉田地域自治協議会
あやめ池公園東屋塗装

(地域の活力を高める事業)



9区の2自治会第1隣組
「中央大如来碑」
長期保存修繕

(地域文化の創造事業)

役場 総務課 ☎ 36-2001

木祖村学童野球では、昨年度より単独のチーム編成が困難になり、榑川小学校（榑川クラブ）との合同チームを発足し2年目となりました。今シーズンは小学1年生から6年生までの17人が在籍し、4月から毎週日曜日に定期練習を行いながら、各種大会へ参加してきました。人数は少ないものの木曾郡内の大会や塩尻市・松本市の大会に出場し日ごろの練習の成果を発揮してきました。（主な試合結果は以下のとおり）

第38回ライオンズ旗争奪木曾郡学童軟式野球大会

4/29 準決勝 vs 日義学童野球 23対2
4/30 決 勝 vs 福島クラブ 6対5 **【優勝】**



第25回市民タイムス旗争奪中信地区少年軟式野球大会

5/12 1回戦 vs 横田ボーイズ 8対1
2回戦 vs 菅野ツインズ 16対0
5/13 3回戦 vs 桔梗ヶ原グレイプス 4対1
準決勝 vs 二子少年野球部 10対11 **【第3位】**

高円宮賜杯 第38回全日本学童軟式野球大会 中信地区予選

5/20 1回戦 vs 山形キヨミズ 10対6 **【県大会出場権獲得】**
準決勝 vs 塩尻B B C 7対8

高円宮賜杯 第38回全日本学童軟式野球大会 長野県大会

6/23 1回戦 vs 臼田スターズ 2対8



第38回信濃毎日新聞社旗争奪中信地区学童軟式野球大会

6/30 1回戦 vs 四賀学童野球クラブ 7対0
2回戦 vs 山形キヨミズ 0対6

第66回木曾郡総合体育大会

7/15 準決勝 vs 福島クラブ 13対3
決 勝 vs 南木曾学童野球 15対2 **【優勝】**

第5回ろうきん旗争奪木曾郡学童野球軟式野球大会兼松井秀喜旗争奪学童野球木曾支部予選会

7/16 準決勝 vs 南木曾学童野球 13対1
決 勝 vs 福島クラブ 9対7 **【優勝】 中信大会出場権獲得**

木曾郡学童野球選手権大会

9/24 準決勝 vs 上松クラブ 8対4
決 勝 vs 南木曾学童野球 8対9 **【準優勝】**

第29回中日新聞社旗争奪長野県中信地区学童軟式野球大会

10/6 1回戦 vs 惣社少年野球クラブ 6対3
2回戦 vs 吉田スポーツ少年団 1対0
10/7 3回戦 vs 徳間少年野球 3対2
準決勝 vs 寿ヤングバード 7対4
10/8 決 勝 vs 桔梗ヶ原グレイプス 2対3 **【準優勝】**



【塩尻市軟式野球連盟主催大会】

連盟杯：準優勝、読売杯：優勝、桔梗ライオンズ杯：準優勝、新人戦：第4位、アルプス杯：優勝

木祖村少年野球では、今シーズン1年生1名、2年生4名、3年生4名の9名で活動してきました。人数が少ないながらも、木曾郡で行われた6大会で全て優勝することができました。また、今シーズンは木曾郡内の合同チーム「オール木曾」も発足し、木祖村の中学生が主体となってチームを引っ張り、中信大会では全国大会へ出場しているチームと互角に戦うこともできました。

第7回南木曾少年野球大会 茶原旗新人戦

3/25 1回戦 vs 青峰クラブ 4対2
2回戦 vs 上松クラブ 3対0 **【優勝】**

第43回信毎旗争奪木曾郡少年野球大会

4/21 1回戦 vs 青峰クラブ 11対1
2回戦 vs 上松クラブ 7対3 **【優勝】**

第48回中部日本地区選抜中学野球大会木曾支部予選会

5/20 1回戦 vs 青峰クラブ 9対4
2回戦 vs 上松クラブ 13対1 **【優勝】**

第66回木曾郡総合体育大会

7/29 1回戦 vs 上松クラブ 9対4
2回戦 vs 青峰クラブ 11対4 **【優勝】**

第42回中日旗争奪木曾郡少年野球大会

9/17 1回戦 vs 青峰クラブ 13対3
2回戦 vs 上松クラブ 3対2 **【優勝】**

第16回木曾郡少年野球選手権大会

10/14 1回戦 vs 上松クラブ 6対1
2回戦 vs 青峰クラブ 5対3 **【優勝】**

【オール木曾として参加した大会】

第25回読売杯

5/5 1回戦 vs 丘クラブ 3対24
2回戦 vs 埴生クラブ 0対1

第35回全日本少年軟式野球大会

5/12 2回戦 vs 清水中学校 4対3
準決勝 vs 聖南中学校 5対2
5/13 決 勝 vs 丘クラブ 0対2 **【準優勝】**

第48回中部日本地区選抜中学野球大会

6/2 2回戦 vs 明科中学校 2対1
準決勝 vs 開成中学校 5対2
6/3 決 勝 vs 丘クラブ 1対2 **【準優勝】**



「オール木曾」の3年生と指導者の方々



公民館だより

新年明けましておめでとうございます。昨年は各種公民館活動にご支援、ご協力を賜りありがとうございました。おかげさまで大過なく計画した事業を実施する事ができました。本年も各分館を中心に「笑顔あふれる元気な源流の里木祖村」を目指して活動を展開して参りますので、村民の皆様にはご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。村民の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。 木祖村公民館長 勝野 次男

□ 本館

☺ 県内研修：11月15日（長野市）



善光寺参拝と水野美術館で絵画鑑賞

☺ 餅つき大会：12月2日（村民センター）



米づくり体験で収穫したお米で餅つき大会実施

☺ 物作り体験教室：12月12日（村民センター）



壁掛けのクリスマスアート作り

☺ 平和学習：12月17日（中学校ランチルーム）



戦争のない平和な世界を願って

◆ご存知ですか木祖村の事 …… 答えは次ページ

1. 木祖村の村木は？
2. 木祖村の村花は？
3. 藪原村・荻曾村・菅村が合併して今年で何年目？

❑ 藪原分館

😊 11月25日、そば打ち教室を行い皆さん満腹になるまで堪能しました。



作ったソバで楽しい食事

😊 12月2日大正村へ研修旅行に行ってきました。天気もよく楽しい一日でした。



皆で記念撮影

❑ わら原分館

😊 12月9日、11区光沢交流センターにおいて、しめ縄作りと少し早い年越しそばを参加者で頂きました。



お正月のために!!



皆さんでおいしく頂きました

❑ 菅分館

😊 12月9日、昨年好評だったそば打ち講習会を今年も希望者が多かったので、菅地区で取れたそば粉を使い行いました。ざるそばにして、茹で汁といっしょに美味しく頂きました。役場農林課職員の方には道具を用意して頂き感謝申し上げます。



手分けしてこねる、切る



うまくなりました。おみごと!!

◆ご存知ですか木祖村の事の答え 1. とちの木 2. りんどう 3. 130年

木祖村観光協会ニュースレター

「第4回信州木祖村紅葉のフォトコンテスト」を開催いたしました

3週間にわたり木祖中学校から笑ん館へと、作品の展示投票・結果発表展示を行いました。

今年は紅葉の見ごろが遅く短く、応募数が激減するかと心配されましたが、過去最高数の昨年に比べ、僅かに減少した程度でした。また投票期間も昨年より短くなりましたが、今回は協賛者様のご厚意により、投票者プレゼントを実施した為、昨年並みの投票数となりました。

作品を応募いただきました皆様、投票いただきました皆様、協力・協賛いただきました皆様に、謹んで感謝を申し上げます。

○応募者数：33名（内村外：22名）

○応募作品：94作品

投票結果



「峠路」
最優秀賞

湯川 喜義



「秋深まる水木沢」
最優秀賞

久保畠賢一



「秋色の流れ」
優秀賞

佐々木康治



「木祖村の紅葉」
木祖中学校賞

小栗山秀男

- 入賞「清流の彩り」久保畠賢一
「空路」久保畠賢一
「光り輝く」熊井好男
「果てしなく広がる世界」坪井 祐
「晩秋の星との共演」坪井 祐

- こだまの森賞「奥木曾湖3」小川礼子
- ナルカリクラフト賞

- 「秋深まる水木沢」久保畠賢一
- マルオカ工業賞「観音堂の秋」古屋 治
「山里を走る」野村 茂
「奥木曾湖の夕景」岩原憲也
- J A木曾木祖支所賞「咲き誇る」山田宗彦
- 水の始発駅賞「光り輝く」熊井好男
- 味噌川ダム賞「錦秋の奥木曾湖」牧内英文

(順不同・敬称略)

「第5回 桜のフォトコンテスト」開催！

今春には、桜のフォトコンテストを開催予定です。ぜひ村内からの多数の応募や投票をいただき、木祖村の人々が楽しめる企画に広がれば幸いです。

なごやいんぷお

～木祖村名古屋総合拠点施設からの情報をお届けします～



★木のどんぐり募金活動

感謝状贈呈式を開催しました！

「木曽川の源流、水源を守ろう」というお気持ちをお持ちの皆様御協力のもと、「どんぐり募金活動」はこの度10期目の節目を迎え、12月3日に協力者様への感謝状贈呈式を執り行いました。募金箱は愛知県内26箇所、木祖村内6箇所に設置されており、これまでの10年間で約560万円もの募金に御協力いただきました。改めて感謝申し上げます。

今後は木祖村内にも設置箇所を増やし、源流の里木祖村らしく美しい景観保持の活動や、森林整備事業などの活動に役立てていきたいと思っておりますので、設置に御協力いただける方は、役場商工観光課までご連絡をお願い致します。

★名古屋中ライオンズクラブ様から寄付金を頂戴しました！

1月18日、名古屋市内にて名古屋中ライオンズクラブ様の定例会が開催され、木曽川の源流を守ってほしいとの思いから貴重な浄財を御寄付いただきました。

頂きました寄付金はどんぐり募金活動同様、木祖村の緑化事業に充当させていただきます。

名古屋中ライオンズクラブ様からの御寄付は6年目となり、昨年、木祖村表彰式にて善行表彰を授与させていただきました。



東海地区 木祖村人会だより

日ごろから木祖村人会活動への御協力ありがとうございます。

今後の行事予定をお知らせいたします。新規の行事も企画しましたのでぜひご参加ください♪本年もどうぞ宜しくお願い致します。

行事名	開催日	場所	主な内容	募集人員
ボーリング大会	3/16(土)	ラウンドワン鳴海	初のボーリング大会！	20名
交流バスツアー	4/27(土)	御岳ロープウェイ 木祖村内	木曽の絶景とお食事＆ 楽しいバス車内の抽選会！	80名
ゴルフコンペ	5/22(水)	瀬戸市 品野台CC	ゴルフを楽しみながら ふるさと木祖村を応援！	8組 32名
木祖村満喫ツアー	8/24(土)～25(日)	木祖村内	木祖村の自然を満喫！	35名
大相撲観戦	7月	愛知県体育館	御嶽海の応援！	若干名

※会員の皆さんへは行事ごと詳細の御案内をお送りしますので、そちらをご覧ください。

東海地区木祖村人会事務局 (Tel 052-680-7350)



税の窓口

その4

所得税及び住民税の申告相談について

村では、平成31年2月18日(月)から平成31年3月15日(金)までの期間中、所得税及び住民税の申告相談を行いますので、下記を参考にさせていただき、期間内に最寄りの申告会場で正しく申告をお願いします。

なお、土地・建物・株式の譲渡があった方、損失の申告をされる方及び青色申告をされる方は村の相談会場では相談できません。税務署の相談会場で申告をお願いします。

☆所得税の申告が必要な方

以下に該当し、所得税の納付や還付が発生する方（発生しない場合も住民税の申告が必要です）

- ・ 農業・不動産・営業等の所得のあった方
- ・ 2か所以上から給与・公的年金等を受けた方
- ・ 日雇・パート・退職などで年末調整をしていない方
- ・ 医療費控除等の所得控除を受けようとする方
- ・ 年末調整を行った方で、配偶者の給与収入・扶養等に誤りのあった方

☆住民税の申告が必要な方

- ・ 1か所から給与を受けた方で、給与所得及び退職所得以外の所得の合計額が20万円以下の方
- ・ 2か所以上から給与を受けた方で、主たる給与以外の給与収入金額と給与所得及び退職所得以外の所得の合計額が20万円以下の方
- ・ 公的年金等（遺族年金、障害年金等の非課税年金を除く）の収入金額の合計額が400万円以下、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下の方
- ・ 課税・非課税証明が必要となる方

☆申告が不要な方

- ・ 1か所から給与を受けた方で、誤りなく年末調整をし、他に所得のない方
- ・ 公的年金等の収入のみで、控除内容に変更・追加がない方
- ・ 全く所得のなかった方

☆申告会場へ持参するもの

- 1) 印鑑
- 2) 本人確認書類
 - ・ ①マイナンバーカード又は②通知カード及び運転免許証等の写真付身分証明書
- 3) 所得を証明するもの
 - ・ 源泉徴収票（年金の場合も源泉徴収票が必要です）
 - ・ 営業や農業、不動産等の所得のある方は、平成30年中の収支が明確となる収支内訳書や帳簿類及び領収書等（事前に収入・支出を計算してください）
 - ・ 雑所得のある方は、支払調書等
- 4) 控除の証明となるもの
 - ・ 国民年金保険料控除証明書（厚生労働省年金局発行）
 - ・ 生命保険会社及び損害保険会社等が発行した証明書類
 - ・ 市区町村及び社協等が発行した寄附金領収書
 - ・ 障害者手帳（要介護者の場合は、住民福祉課で交付する要介護者認定書）
 - ・ 病院・薬局・介護老人福祉施設からの領収書・証明書及び生命保険会社等から保険支払いのあったことが明確となる帳票
- 5) 還付先口座（本人名義）が分かるもの
 - ・ 通帳・キャッシュカード等

申告相談日程

*受付時間 全会場 午前9時から午後4時まで（土日は行いません）

月	日	曜日	対象地区	申告会場
2月	18～22日	月～金	全地区	役場1階 村民相談室
	25日	月	菅地区	菅公民館
	26日	火	小木曽地区	老人福祉センター
	27～28日	水～木	全地区	役場1階 村民相談室
3月	1～15日	金～月		

※対象地区ごとに会場を指定してありますが、指定以外でも申告を受け付けますのでお気軽にご来場ください。

＜社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の導入による変更点＞

マイナンバー制度の導入により、申告の手続きが下記のとおり変更となりましたので、ご理解ご協力をお願いいたします。

1) 申告書へのマイナンバーの記載

平成28年1月1日の属する年分以降の申告書を提出する場合、提出者の方のマイナンバーの記載が必要になります。また、提出者の方だけでなく、控除対象配偶者や控除対象扶養親族の方などのマイナンバーの記載も必要となります。

2) 本人確認

マイナンバーを提出する際は、なりすましを防止するため、マイナンバー法に基づき厳格な本人確認が義務付けられています。本人確認には、提出したマイナンバーが正しい番号であるかの確認（番号確認）と、番号の正しい持ち主であることの確認（身元確認）が必要とされています。具体的には、①マイナンバーカード（個人番号カード）（番号確認と身元確認）又は②通知カード（番号確認）及び運転免許証等の写真付身分証明書（身元確認）などで本人確認を行うこととなります。

＜医療費控除を適用される方へ＞

平成29年分の確定申告から、医療費控除は領収書の提出が不要となっております。なお、領収書の提出の代わりに「医療費控除の明細書」の添付が必要となり、税務署から記入内容の確認を求められる場合がありますので、領収書は5年間保存する必要があります。

＜セルフメディケーション税制について＞

健康の保持増進及び疾病の予防として一定の取組を行う方が、特定一般用医薬品等購入費（※）を支払った場合は、通常の医療費控除との選択により、セルフメディケーション税制による医療費控除の特例の適用を受けることができます。

この特例の適用を受ける方は、①「セルフメディケーション税制の明細書」の提出及び②適用を受ける年分において一定の取組を行ったことを明らかにする書類の提出又は提示が必要となります。

※特定一般用医薬品等購入費とは、医師によって処方される医薬品（医療用医薬品）から薬局などで購入できるOTC医薬品に転用された医薬品（スイッチOTC医薬品）の購入費をいいます。

確定申告などに関する
お問い合わせ

国税庁ホームページ「タックスアンサー」・「税の情報・手続・用紙」
をご覧ください。

e-Tax・作成コーナーの操作
などに関するお問い合わせ

「e-Tax・作成コーナーヘルプデスク」（☎0570-01-5901）
【受付】月曜～金曜（祝日等及び12月29日～1月3日を除きます）

地域おこし協力隊活動日誌⑧

皆さん、こんにちは。

木祖村地域おこし協力隊の大沢理沙です。去年は、様々な方にお世話になった木祖村1年目でした。ありがとうございました。今年もよろしくお願い致します。

現在、私は、木祖産業協同組合の職人さんとツバメの形をした屋号看板を制作しております。この屋号看板は、藪原宿の江戸支屋（藪原5区）、南寿屋（藪原7区）、新大坂屋（藪原7区）、大つた屋（藪原8区）、大銭屋（藪原8区）に設置予定です。只今、制作中です。

去年の秋、大桑村の須原宿の視察に行きました。須原宿も藪原宿と同様の空き家の悩みを抱えておりますが、須原宿は去年の間にも古い建物を6軒取り壊しを行っており、解体作業中の建物、更地が目立ち急速に町並みが崩れさろうとしているのを目の当たりにしました。疑問が解消できず、その足で大桑村の教育委員会の方とお話しをする時間をいただきました。その方は「高齢化が進む中で、ここに生きる人々の生活とかつての宿場町の景観を残すことの共存は難しい」と話してくれました。

話を聞き、藪原宿を見つめなおす中で、空き家を悲観的に捉えるのではなく、何か生まれるかもしれないと好奇心を胸に向き合っていきたいと感じました。大きなことに手を伸ばすのではなく、自分の手でできることから一つずつ行動してみようと思い今実践しているところです。屋号看板をツバメの形にしたのは、暖かい季節になると藪原の空にツバメが飛び回る光景から、藪原宿とツバメの関係をテーマにしました。ツバメは人の温度を感じ取り人が住む家だけを選び巣をつくり子育てをしているようです。新たな命を育むための巣は藪原の人々との共同作業にも見え、ツバメを心待ちにしている人も居ます。ツバメが人の温度のある家を見つめているのならば、私たちは人は住んでいなくとも藪原宿を生きた歴史と温度のある家をどう見つめていけばいいのでしょうか。

人とツバメの紡ぐ関係のように眠っている魅力がまた温度を放つようになれば、新たな関係性が生まれるように感じます。そんな思いから、ツバメが街道を飛び立つように屋号看板を設置します。屋号看板を設置する空き家は、去年から、視察、清掃作業、所有者と直接お会いしたりと向き合ってきた建物です。今年の6月この建物は、木曾ペインティングスと共同企画で展示会場として扉が開きます。一步目は美術という違う角度から光を当てたいと思います。答えが無い問題ですが、言葉に出来る意思を持ち今年は猪突猛進の姿勢で進んでまいります。よろしくお願い致します。

12月21日 屋号看板設置の実験



風に揺れ、影が動き、ツバメが飛んでいるようでした。街道に動きが生まれてきそうです。今後屋号名が入ります。

鉄骨制作：青木鉄工

制作工程

11月22日 制作開始

木祖産業協同組合の職人の皆様にご協力いただいております。



岩原久光さん・上村誉典さん



3枚の板を組み合わせ、形を作る



一羽、一羽、違う飛び方のツバメを制作中



大沢理沙



お披露目で意見を交わす産業協同組合の職人の方々

保育園 & 子育て支援センター だより



お楽しみ発表会

とちのみ保育園では、12月7日お楽しみ発表会を行いました。クラスごと劇の発表をしたり、縦割りグループに分かれてリズムを踊ったりし、今までの練習の成果を出すことができました。

周りの子どもたちからは「がんばれー。」と発表する友達に声援を送る姿がみられ、和やかな雰囲気の中での発表になりました。

ゆきだるまのチャチャチャ
♪ゆ～きがふってきた チャチャチャ。
♪そ～とはまっしろけ チャチャチャ。



ベビーの広場

11月26日、今年度生まれたお子さんが集まる「ベビーの広場」を開催し、6組の親子さんが集まりました。

自己紹介をした後、お子さんのお名前由来やお子さんの様子をお話したり、ペットボトルを使ったおもちゃ作りをして楽しみました。

最後はお楽しみのできあがりクリスマスをテーマにした寝相アート。みんなとつてもかわい写真が撮れました。



放課後児童クラブ日記

放課後児童クラブの子ども達は放課後クラブに来てから、陽が沈んで寒くなっても、外で元気よく遊びます。12月は雪が積もらず、10日から14日に行った保護者懇談会では天気がよく外で思いっきり遊ぶ事ができました。いつもの放課後の利用と違い多人数で20人の日もありましたが4、5年生の女の子が低学年の女の子の面倒を見て、3年生の男の子が低学年の男の子の面倒を見ていたのでトラブルもなく1週間無事に済みました。

感染症の時期なので手洗いやうがいをしっかり行っています。

寒い日でも戸外でたくさん遊び風邪に負けない体を作っていきたいと思います。



みんなで遊ぶと楽しいね!

後期高齢者医療の 医療費通知について

後期高齢者医療保険については、今年度から送付する医療費通知を所得税の確定申告（医療費控除）に使用できるようになります。また、特別な事情がある場合を除き、その前年に医療を受けた全ての被保険者に対し、平成31年1月下旬及び3月下旬に、長野県後期高齢者医療広域連合から医療費通知を送付いたします。

なお、医療費通知は、前年1月から前年10月までの受診分については、1月下旬に、前年11月及び前年12月受診分は、3月下旬の年2回に分けて送付いたします。確定申告の期間中に、医療費控除の申告をされる際は、1月下旬にお送りする医療費通知と併せて、11月及び12月診療分の医療機関等からの領収書を添付の上、申告してください。

●お問い合わせ先

長野県

後期高齢者医療広域連合事務局

業務課給付係

☎026-229-5320

平成31年4月から 産前産後期間の国民年金保険料が免除となります！

●免除期間

出産予定日又は出産日が属する月の前月から4か月間（以下「産前産後期間」といいます。）の国民年金保険料が免除されます。

なお、多胎妊娠の場合は、出産予定日又は出産日が属する月の3か月前から6か月間の国民年金保険料が免除されます。

※出産とは、妊娠85日（4か月）以上の出産をいいます。
（死産、流産、早産された方を含みます。）

●対象者

「国民年金第1号被保険者」で
出産日が平成31年2月1日以降の方

●届出時期

出産予定日の6か月前から届出可能ですので、速やかに届出てください。

※ただし、届出ができるのは平成31年4月からです。

●届出先

木祖村役場 住民福祉課窓口

●お問い合わせ先

制度の詳細は、木祖村役場国民年金担当及び年金事務所にお問い合わせください。

※日本年金機構ホームページにも制度の詳細を掲載しておりますので、どうぞご利用ください。
日本年金機構ホームページ
<http://www.nenkin.go.jp/>

31年度に採用する特別養護 老人ホームの嘱託員を募集

●募集する職種・人数及び資格
いずれも普通自動車免許があり、各職種に必要な資格を有する人

○介護職員 20名程度

・介護福祉士資格または受験資格
・社会福祉士資格または受験資格
・介護職員初任者研修修了者（ヘルパー2級以上の資格）
および老人福祉施設での介護経験が6ヶ月以上

○機能訓練指導員 若干名

・看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴

覚士、柔道整復師、あん摩マツサージ指圧師

※各資格は、平成31年3月末日までに取得見込みのものを含みます。

※学生は、平成31年3月末日までに卒業見込みの人に限りです。

●勤務場所

木曾郡（南木曾町・木曾町・木祖村）、塩尻市・松本市・東筑摩郡にあるいずれかの組合施設
●採用試験
3月まで随時実施

●申し込み方法

組合各施設及び事務局（特別養護老人ホーム桔梗荘内）および組合ホームページ
URL：<http://aohato.com/>

にある申込書に記入の上、組合事務局又は組合施設に平成31年2月末日までに提出ください。

●お問い合わせ

松塩筑木曾老人福祉施設組合
事務局
☎0263-53-5000

「狼煙上げ」が1月4日に村内3カ所で行われました

藪原地区



小木曽地区

菅地区



緊急当番医

月	日	医院名	町村名	電話	月	日	医院名	町村名	電話
2	3	原内科医院	木曽町	22-2678	3	3	大脇医院	上松町	52-2023
	10	芦沢医院	上松町	52-2018		10	奥原医院	木祖村	36-2264
	11	古根医院	大桑村	55-1188		17	王滝村診療所	王滝村	48-2731
	17	田沢医院	木曽町	44-2008		21	みたけ診療所	木曽町	46-2266
	24	池口医院	大桑村	55-2002		24	原内科医院	木曽町	22-2678
				31		芦沢医院	上松町	52-2018	

変更のある場合がありますので、ながの医療情報Net (<http://www.qq.pref.nagano.lg.jp>)にてご確認ください。

村民のうごき ()内は対前月比

	人口	男	女	世帯数
12月	2915(-2)	1361(+1)	1554(-3)	1121(-2)
1月	2913(-2)	1358(-3)	1555(+1)	1123(+2)

広報きそ 352号 (平成31年1月31日発行)
 編集/発行: 長野県木祖村 総務課
 TEL: 0264-36-2001 FAX: 0264-36-3344
 ホームページアドレス: <http://www.vill.kiso.nagano.jp>
 この広報誌は、地域に優しい再生紙を使用しています